



# 2012/13 Weekly Bulletin

国際ロータリー第2790地区第3分地区B

## 市原ロータリークラブ会報



事務局  
市原市五井 5584-1  
TEL:0438-38-3535

第2370回例会  
2012年9月5日(水)

SAA / 会員  
会報担当平野会員

例会場  
五井グランドホテル

- ★点鐘 市原RC会長 小川長二
- ★ソング 君が代・奉仕の理想・4つのテスト唱和
- ★プログラム 新入会員卓話

Peace Through Service

### 新入会員 岡田修一会員 卓話



岡田修一会員

こんにちは。千葉銀行姉崎支店の岡田です。本年6月28日の異動で、姉崎支店に着任いたしました。着任にあたり、人事の副部長からは「お前の使命は姉崎支店をもっと明るくすることだ」と言われていました。そこで、最初の朝会の時、「私は岡田で48才です。OKD48(オー・ケー・ディー・フォーティーエイト)と呼んで下さい」と挨拶したところ、辺りは水を打ったように静かになりました……。若者の心を掴むのは大変です……。

市原ロータリークラブには、7月4日に、前任支店長の小川に連れられオブザーバーとして参加させていただきました。その後、7月11日に三木先輩の推薦のもと、正式に会員として認めて頂くことになりました。社会人となって24年経ちますが、ロータリーは今回が初めての経験です。本日は、大変惜越ながら、自己紹介の機会を設けて頂きました。今まで、忙しいだけで何も考えず走ってきたので、今回は自分を振り返る良い機会だと思っています。あわせて、皆さんにもっと親しみを感じて頂き、ご指導を受けやすい環境を作れればと考えています。つたない話になると思いますが、しばしの時間、我慢して付き合ってください。

私の父は、昭和9年、お百姓さんの6人兄弟の末っ子として、鳥取県で生まれました。地元の高校を卒業後、縁あって、川崎製鉄(現在のJFEスチールですが…)に就職することになりました。当初は神戸で働いていたそうです。しばらくして、千葉市蘇我にある千葉製鉄所へ転勤することになり、昭和27年に千葉市の住民となりました。昭和35年に結婚し、翌年姉が生まれました。そして、その3年後、私が生まれました。昭和39年、東京オリンピックの年です。

私の実家は、田んぼを埋め立てた、当時の新興住宅地にあり、近隣には畑や田んぼ、山や川など、緑もふんだんにありました。恵まれた環境のなか、近所の子供たちが集団になって、日が暮れるまで遊んでいたことを覚えています。ザリガニ釣り、ドジョウ捕り、昆虫採集、等が得意でした。私は当時、泣き虫で直ぐお腹をこわす子供でした。小学校入学以降、怒られたり説教されたりするシチュエーションが多かったのですが、小心者で心配性な正確は当時から全く変わっていません。その代わりに、胃腸だけは、かなり頑丈になりました。今は、何を食べてもお腹をこわすことは、まずありません。

4才になり、地元のプロテスタントの教会が経営している幼稚園に入園しました。担任は園内一番の美人、八重歯が可愛い根本先生でした。そこで、賛美歌を歌ったり、キリスト出生に関するお遊戯をしたり、キリスト教に関連する紙芝居を見せられたりしました。食事の前には神様にお祈りを捧げていました。私がキリスト教徒であったのは、人生でこの2年間だけです。

昭和46年、大阪万国博覧会の翌年、地元の小学校に進みました。当時の私にとって、ヒーローは、長嶋茂雄と王貞治でした。当時、親にせがんで買って貰ったエポック社の野球盤と、王選手のサイン色紙は、今でも実家に大切に保管されています。

私の通っていた小学校は、季節ごとに運動部を立ち上げ、沢山のスポーツを経験させる方針でした。その恩恵を受け、私は陸上、水泳、サッカーを経験することが出来ました。どのクラブも短期間での活動だったので、特別な成績を残すことはありませんでしたが、色々なスポーツを体験でき、楽しい思い出ばかりが残っています。それとは別に、ブラスバンド部にも所属し、トロンボーンを吹いていました。昭和48年に千葉県で「若潮国体」が開催されたのですが、そのオープニングイベントとして、小学生のブラスバンド演奏が実施されました。その際に結成されたブラスバンド部の一員として、「背が高い」という理由だけでトロンボーンを吹くことになったのです。ちなみに、その後の人生で私が演奏した楽器は縦笛だけです。少年野球にも夢中になりました。大人の指導者などいません。放課後、同級生が集まり、日が暮れるまでボールを追いかけていました。この後、私は野球というスポーツと長い付き合いになるのですが、「野球の楽しさを知る」という点では、あの頃の体験が原点だと思っています。

6年生の時、学区内の「交通公園」という市営の公園へ行き、交通指導を受けるという授業がありました。その時の我々の態度が余りにも酷く、学校に帰ってから、担任の行木先生が男子児童全員をぶん殴る(平手打ちでしたが…)という事件がありました。先生はとても教育熱心な方で、普段はとても優しくかったのですが、当日はとても我慢が出来なかったのでしょうか、泣きながら、我々を叩いていきました。あの時の説教は今でも覚えています。先日、同窓会がありました。最大の話題は、あの時のピンクの話でした。皆、良い思い出として語り合っていました。体罰が良いとは言いませんが、愛と情熱があれば、児童に伝わることもあると思います。あわせて、子供を少し叩いただけで、大げさに処分される、現在の先生方は、可愛そうだと思います。

昭和52年、地元の中学校に入りました。この時代は私にとって人生の絶頂期で、楽しかった思い出しかありません。学校では野球部に入部しました。毎日の練習は、昨日まで小学生だった身には厳しく思えました。うさぎ跳び、けつバット、水を飲んではいけぬ、水泳をしてはいけぬ、等、今ではやってはいけぬことになっていることを、全てやらされた記憶があります。訓練の甲斐があったのでしょうか、3年の夏、最後の大会で優勝することが出来ました。ただし、千葉市代表として挑んだ県大会では、1回戦で強豪辰巳台中に0対1で敗れています。

3年生の体育祭の時に、使用する運動用具を設営する係の責任者になったことがありました。担当の先生は、当時学校で最も怖かった柔道部顧問の田村先生でした。体育祭実施までの準備の間、田村先生には随分と怒られるだろうな、と覚悟していましたが、結局、田村先生は殆ど口出しせず、私のやりたいように準備をやらせてくれました。体育祭の前日、私は先生に言いました。「先生、何で先生は今回いろいろと教えてくれなかったのですか」。その間に対し、先生は言いました。「岡田が正しい方向で頑張っていることは分かっていた。お前に任せれば大丈夫だと思った。明日の体育祭は成功するぞ。」この時のことは昨日のように覚えています。人を動かすには、こういうやり方があるのかと、身をもって認識できました。今、自分が管理職になって、同じことが出来るか、というと、とても難しいとしか言えません。私も早く田村先生のように、腹をくくり、部下を信頼できるような支店長になりたいと思います。

昭和52年、地元の中学校に入りました。この時代は私にとって人生の絶頂期で、楽しかった思い出しかありません。学校では野球部に入部しました。毎日の練習は、昨日まで小学生だった身には厳しく思えました。うさぎ跳び、けつバット、水を飲んではいけぬ、水泳をしてはいけぬ、等、今ではやってはいけぬことになっていることを、全てやらされた記憶があります。訓練の甲斐があったのでしょうか、3年の夏、最後の大会で優勝することが出来ました。ただし、千葉市代表として挑んだ県大会では、1回戦で強豪辰巳台中に0対1で敗れています。

3年生の体育祭の時に、使用する運動用具を設営する係の責任者になったことがありました。担当の先生は、当時学校で最も怖かった柔道部顧問の田村先生でした。体育祭実施までの準備の間、田村先生には随分と怒られるだろうな、と覚悟していましたが、結局、田村先生は殆ど口出しせず、私のやりたいように準備をやらせてくれました。体育祭の前日、私は先生に言いました。「先生、何で先生は今回いろいろと教えてくれなかったのですか」。その間に対し、先生は言いました。「岡田が正しい方向で頑張っていることは分かっていた。お前に任せれば大丈夫だと思った。明日の体育祭は成功するぞ。」この時のことは昨日のように覚えています。人を動かすには、こういうやり方があるのかと、身をもって認識できました。今、自分が管理職になって、同じことが出来るか、というと、とても難しいとしか言えません。私も早く田村先生のように、腹をくくり、部下を信頼できるような支店長になりたいと思います。

昭和55年、地元の高校に入学しました。私は入学式の次の日に野球部に入り、以後、野球中心の高校生活を送ることになりました。勉強は殆どしていません。高校2年の夏、甲子園の予選の1回戦で、優勝候補の習志野高校と戦うことになりました。ちなみに習志野のエースは、後にヤクルトで活躍する後関投手でした。

なお、私は補欠で、何とかベンチに入った程度の選手でした。試合は、相手に先制を許したものの、我々の力が150%発揮され、9回裏ツーアウトから同点に追いつき、延長12回、センターへの犠牲フライでサヨナラ勝ちを収めるといふ劇的な大盤狂わせ、大金星を挙げることとなりました。

ベンチは大騒ぎです。喜びを爆発させている者、泣いている者に二分されていました。そんな大変な時、私はベンチの中で、野球部の顧問であり、世界史の担当であった越川先生の元へ近づいていき、こう言いました。「期末テストの赤点の罰として出された、来週提出期限の世界史のレポート、来月まで延長させて下さい」。越川先生は野球部の顧問でもあったので、物凄い混乱のなか、渋々応諾してくれました。夏休みの数学の宿題を全て代筆してくれた小宮君と、越川先生には、今でも感謝しています。お手元のバッティングの写真は、高校卒業時点での一コマです。妻にみせたら「この人誰？」と言われました。高校時代の野球部のサインは少し複雑でした。よく間違えて、監督に酷く怒られました。野球のサインは簡単な方が良いと思います。

何だかんだ言っても、高校時代はとても自由でした。お手元の資料の2枚目をご覧ください。これは、たたみ三畳分の巨大な年賀状です。秀才で何事にも落ち着いて動じない、剣道部の奥田くんを何とか驚かそうと、徹夜で作成し、大晦日除夜の鐘を聞きながら、リヤカーで奥田くんの自宅まで届けました。ちなみに、年賀状の模様は全て手で書きました。休み明け、奥田くんが私の元に来てくれました。曰く「あの年賀状を見るために、近所の子供が50人位集まってきた。本当に驚いた」と言ってくれました。作戦は大成功でした。しかし、そんな馬鹿なことをやっていたため、受験には失敗、1年間の浪人生活を送ることになりました。

昭和59年、大学に入学しました。入ってから勉強をした記憶は殆どありません。大学ではスキーのクラブに入りました。高校時代、野球部があまり強くなく、楽しい思い出が少なかったため、大学に入ったら、個人競技で、出来るだけチャラチャラしたスポーツをやってみたくらいと思ったからです。

何も考えず入ったクラブは、春のうちはとてもナンパなクラブで、飲み会が多く、とてもチャラチャラしていました。私は、スキーは全くの初心者でしたが、これから4年間、楽しいキャンパスライフが送れると思えました。冬になり、初めての合宿が始まりました。すると、・・・なんと言うことでしょう・・・、あんなに優しくった先輩が、山の上では鬼と変わり、気合と根性と説教と正座の世界が始まりました。後で知ったことですが、私の入ったクラブは、体育会スキー部を喧嘩してやめた人が作ったクラブで、当時は新入部員が少なく廃部の危機にあり、新生を騙し、とりあえず山まで連れて行こう、という活動していたらしいのです。酷い話です。これでは高校の野球部時代と一緒にです。私は2年生の途中まで、暗い学生生活を送っていました。

3年生になると、だんだんスキーも上手になり、合宿も楽しくなってきました。お手元の写真はその頃の大回轉競技のスナップです。スキー部では、死ぬほど酒を飲まされました。また先輩やOBへの挨拶の仕方を徹底的に仕込まれました。当時は「ここまでやって何の役に立つのだろう」と思っていました。今になって思えば、社会に出てから本当に役に立ちました。学生時代には分かりませんが、偶然にも良いクラブに入り、良い先輩に出会ったと思っています。

昭和63年、千葉銀行へ入行しました。とても景気が良い時代でした。本当は、就職の第一希望は不動産屋で、銀行はその次だったのですが、千葉銀の入社面接の際、当時の採用担当が「千葉銀には、不動産会社へ出向する制度もあるよ」と言ってくれたので、「これは面白い」と思い、千葉銀行への就職を決めました。入行式が終わり、配属が発表された時、不動産業者へ出向となったのは、同期の別の人間でした。「負けた！」と思っても後の祭りでした。1年目は住宅ローンの担当で、2年目は主に、集金業務を任せられました。当時はパブル全盛期で、とても景気が良く、毎日夜10時、11時まで働いていました。でも、一番大変だったのは、先輩に週5回、飲み連れて行かされることでした。今にして思えば、毎日少ない睡眠時間で、良くもったと思います。

銀行員生活がしばらく続くと、少しずつ銀行員という職業が好きになっていきました。金融を介在させることで、特定の商品だけでなく、お客様の殆ど全ての希望達成を手伝うことができる、仕事を通して地域の発展に貢献できる、等からです。集金をやりながらでも、お客様に喜んで貰えることを考えました。仲の良い取引先には、銀行制定の贈答品ではなく、新聞紙に包んだ石焼き芋を持っていき、お客さんと一緒に食べました。別の大口のお客様から「ティッシュを持って来い」とお願いされたことがありました。私は銀行の倉庫にあった、大型ダンボール箱1箱に入ったティッシュを、「ティッシュ1年分持ってきました」と言いながら、箱ごとお客様に渡しました。次の日、銀行では「ティッシュが無くなった」ということで、大騒ぎになっていました。すみません、支店の半年分のティッシュを1日で使ってしまったのは私です。

銀行員は、担当ベースで、一人50先から100先の担当を持ちます。また、2年から3年おきに異動があるので、通算すると、かなり沢山のお客様と知り合いになります。直接のお客様でなくても、出会う人の数は相当のものです。津田沼駅前支店で係長のころ、元議員さんと話をする機会がありました。彼の自宅で、私は当時の大蔵省の指導方針とか、銀行の経営方針等を一生懸命説明しました。生意気だったと思います。彼は人間的に素晴らしい人で、素直に聞いてくれました。今になって思い返すと、つたない説明で顔から火が出るような思いです。相撲評論家の「舞の海」さんに、話をするチャンスもありました。私は、何を聞かれても良いように、金融情勢、景気動向、為替の状態等、一晚を掛けて一生懸命勉強し、彼との面談に臨みました。緊張して舞の海さんに近づくと、彼は私に言いました。「いい体格ですね。親方みたいですね」・・・。これが会話の全てでした・・・。平成9年から3年間、従業員組合の専従職員になりました。皆さんは、銀行員という特定のイメージを持たれていると思いますが、当時は4千人程度の従業員がおりましたので、なかには様々な職場があり、色々な考えを持っている人もいました。一日中、地道な事務ばかりをしているような職員や様々な思想を持っている人と話合いをすることで、少しだけ、相手の立場がわかったような気がしました。

姉崎支店で支店長は3ヶ店めとなりました。私は、支店長の仕事は支店の活動の方向性を決める、つまり、部下のベクトルを一つに揃えることだと、考えています。そのために、私は、支店長着任時に必ず言うことがあります。「この支店を最高の店にしたい。営業成績ナンバー1、事務管理もオールA、監査もS評価、早帰りも十分に達成、支店対抗の野球大会でも優勝、そして、みんな仲良く、何でも相談できる風通しの良い職場にする。誰もが、この支店で働きたい、卒業生は誰もが、あの時代は本当に良かった、という店を皆さんと一緒に作っていきましょう。」

また、営業については「お客様の期待を上回るサービスを提供し、感動を与えよう」という言葉をスローガンにしています。具体的には、頂いた宿題には、期日より早く結論を出すこと、親身になって相談にのり、解決方法を提案すること、などを強調しています。

最近、特に人材育成の大切さと難しさを感じています。いつの時代でも、どの業種でも、あることとは思いますが、彼らを一人前の社会人、銀行員に育てるのは大変です。でも、それが最大の仕事とも思っています。現在は、経済動向も銀行業務も目まぐるしく変わってきています。コンプライアンスの順守についても、最需要課題として対応していかなければなりません。毎日が戦いの日々ですが、自己研鑽を図りながら、少しでも地域に貢献していければと考えています。

最近感動したことがあります。ロンドンオリンピック競泳、男子メドレーリレーチームの銀メダル獲得です。その中でも「康介さんを手ぶらで帰らせる訳にはいかない！」というコメントには、本当に感銘を受けました。

「他人のために努力出来る」といふことは、とても幸せなことだと思います。ましてや、それを自分の仕事（彼らの場合は背泳ぎであったり、バタフライであったりしたのですが・・・）、を通して実現できること、これが最高の幸せであると思います。そして、この精神こそ、職業奉仕に関するロータリーの基本的な考え方に通じるものがあるような気がしました。今回のオリンピックでは、チームでの健闘が光りました。他人のために頑張る、皆のために頑張る、という一時期あまりもてはやされなかった考え方が再認識されたイベントであったと思います。

この話には続きがあります。次の日の朝、家を出る時、私は妻に呼び止められました。妻は言いました。「あなたを手ぶらで行かず訳にはいかない」。私の手には大きなゴミ袋が手渡されていました・・・。く～～～、何も言えね～～～。

そろそろ、時間となりましたので、私の話は終わりにさせて頂きたいと思います。ご静聴ありがとうございました。

#### ●委員会報告

域貢献基金募集を8月31日の消印をもって締め切りました、対象事業を決定を本日致します。

#### ●蔵内委員長

PJへの交換留学生が全員無事9月2日に帰ってきました。

### ☺ニコニコ ☺ソーリー

#### ☺岡田会員

今日は私のつたない話にお付き合いいただき、有難うございました。これからも宜しくお願い致します。

#### ☺小川会長・長田幹事

堂々とした卓話さすがです。残暑きびしいですが会員の皆様体調を崩されないよう祈念いたします。



社会奉仕 始関会員



国際奉仕 蔵内委員

### 🎁 誕生祝い

川島会員・三木会員  
白鳥会員・千葉会員  
泉水会員・高澤会員

### 🎒 結婚祝い

川島会員・齊藤(博)会員  
山崎会員・千葉会員  
山本会員・西村(芳)会員  
万崎会員・三宅会員  
本郷会員

前々回出席率 73.33%

本日出席 36名

本日欠席 9名

本日出席率 80%